

選ぶ基準を、もうひとつ。

NDAA準拠の、新しい4ch NVR。

外部PoEハブと組み合わせ、IPカメラの記録・検索・遠隔運用へ。

IPS-NVR1004

NVR1000シリーズ / 4ch ネットワークビデオレコーダー

NDAA COMPLIANT

NDAA準拠を選定条件とする案件に

4CH / EXTERNAL PoE

PoE給電ハブとセットで構成



製品写真

接続の基本：給電と録画を分けて構成。

IPカメラ+PoEハブ

ハブからカメラへ通信+給電



IPS-NVR1004

LANで映像を集約・録画



ローカル・遠隔運用

モニター・管理ソフト等

PoE給電ハブは別途用意。カメラの設置場所に合わせて配線を設計。

ハブの給電容量・LAN帯域・カメラ互換性を、システム全体で確認します。

新シリーズの提案ポイントを、わかりやすく。

01 NDAA準拠という選定軸

機器の調達条件を意識した提案に。

カメラ・周辺機器も含めて適合条件を確認。

02 必要な場面を探して確認

タイムスライス即時検索を掲載。

時間を分けて、見たい場面へ絞り込み。

03 大切な録画を別に残す

高速ローカル・FTPバックアップ。

運用に合わせて保存先を使い分け。

04 遠隔管理まで見据える

NVMS 2.0管理・プッシュ通知。

DDNS・RTSP等のネットワーク機能を掲載。

※ 対応機器・詳細性能・各機能の利用条件は、導入前に販売店へご確認ください。

製品情報： ipsecurity.jp/product/ips-nvr1004/

記録した映像を、確認・保管・遠隔活用。

検索 / タイムスライスで時間を絞る

時間区間を分けて場面を探すタイムスライス即時検索を掲載。
発生時刻が曖昧な事案でも、候補の時間帯を絞って確認する運用に。

保存 / ローカルとFTPを使い分ける

高速ローカルバックアップ、FTPクラウドバックアップを掲載。
必要な場面を別の保存先へ残す運用に。保存先・接続設定は導入時に確認。

遠隔運用 / 管理ソフト・通知・配信を活用

NVMS 2.0管理、プッシュ通知、プライベートDDNS、RTSPストリーミングを掲載。
NVRリモート録画にも対応。ネットワーク環境と対応ソフトの条件を確認。

時間帯を絞る



場面を確認



必要な映像を保存

NDAA準拠を、案件の条件に合わせて確認

本機は製品案内で「NDAA準拠」とされています。システム全体の採用可否は個別に確認。

カメラ・ハブ・ソフトウェアを含め、発注者が求める調達条件と照合してご提案ください。

導入前の確認ポイント

接続台数	4ch NVR。接続カメラの仕様・互換性を確認
カメラへの給電	別途PoE給電ハブを使用。ポート数・各ポートと合計の給電容量を確認
録画用HDD	ご注文時にHDDオプションを選択。必要日数・画質に合わせて容量を確認
検索・バックアップ	タイムスライス検索 / 高速ローカル・FTPバックアップ
遠隔管理	NVMS 2.0 / プッシュ通知 / DDNS / RTSP / リモート録画
ネットワーク	カメラ帯域・遠隔通信・保存先への接続条件を確認
詳細性能・仕様	最大解像度・録画fps・帯域・HDD上限・外部端子は販売店へ確認

※ 製品ページの仕様欄に別機種と思われる同軸録画機の記述があるため、未確認の詳細性能数値は掲載していません。

※ 本資料は製品名・NDAA準拠表示・PoEハブ併用案内・掲載機能に基づく紹介です。最新仕様書で構成を確認。

※ 遠隔機能・FTP等はネットワークと対応ソフトの設定が必要。録画日数はカメラ台数・画質・設定等で変動します。

※ 図は構成・検索のイメージです。記載内容は2026年10月確認。製品仕様は変更される場合があります。

お問い合わせは当店まで

NVR1000 SERIES / NDAA

IPS-NVR1004